

つたえる予防ひろば

夏は楽しく安全に過ごしましょう

夏は花火、バーベキューやお盆の行事など、火を扱う場面が多くなる季節です。楽しいひとときを過ごすためには、正しい知識と事前の準備が欠かせません。ちょっとした不注意が大きな事故につながることもあるため、基本的な火の取り扱い方法を確認して安全な夏を過ごしましょう。

花火

- 風の強い日は遊ばない
- 水バケツを用意し、遊んだ後はしっかり消す
- 説明書をよく読み正しい使い方を
- 人や建物に向けて使用しない



バーベキュー

- こんろを正しく使いましょう
- 燃えやすいものから離す
- 炭は完全に消火してから捨てる
- その場を離れるときは必ず火を消す
- 消毒液を吹きかけたり近くに置かない



YouTube ショート
「危ない!消毒用アルコール」

線香・ろうそく

- その場を離れるときは必ず火を消す
- 周りに燃えやすい紙や布を置かない
- 風で倒れてしまわないように注意する
- 就寝前や外出時は消えているか確認する



YouTube ショート
「小さな火種から火災に」



火を使う前に
もう一度確認を!



もしも服に火が付いてしまったら



すぐに水をかける

水がないときは

YouTube ショート
「着衣着火にご用心」



①とまる



②たおれる



③ころがる



露店出店事業者の方へ 露店の出店に届出が必要です

▶ 火気の取り扱いに注意しましょう

2013年8月、京都府福知山市において露店事業者のガソリンの不適切な取り扱いにより、59人の死傷者が発生する火災がありました。

類似火災を予防するため、火を取り扱う場合には、事前に器具の点検を行い、周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。また、ガソリン等の燃料を携行缶で保管する場合には、直射日光や火気の近くを避けましょう。

▶ 消防署への届出が必要です

対象となる火気器具等を使用して出店する際には、管轄する消防署等への届出が必要です。規制等に関するお問い合わせは、出店を予定されている場所を管轄する消防署等へ連絡をお願いします。

